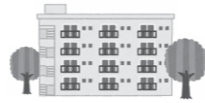




令和元年度 復興公営住宅入居者募集について



復興公営住宅の入居者の募集を右の日程で行います。

なお、第3回募集から、東日本大震災において被災した「地震・津波被災者」及び子ども・被災者支援法に定める「支援対象避難者」(※)で、現在、住宅に困っている方も応募いただけます。

※平成23年3月11日時点で、下表の地域(避難指示区域を除く)に居住していた方

募集期間及び入居予定	
第3回	令和元年 8月1日(木)～16日(金) → 10月入居予定
第4回	令和元年 10月1日(火)～11日(金) → 12月入居予定
第5回	令和元年 12月2日(月)～13日(金) → 2月入居予定
第6回	令和2年 2月3日(月)～14日(金) → 4月入居予定

対象地域

- 中通り** 福島市、郡山市、白河市、須賀川市、二本松市、田村市、伊達市、本宮市、桑折町、国見町、川俣町、大玉村、鏡石町、天栄村、西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町、棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町
- 浜通り** いわき市、相馬市、南相馬市の一部、広野町、楡葉町、富岡町の一部、川内村、大熊町の一部、浪江町の一部、葛尾村の一部、新地町、飯館村の一部

募集の詳細(対象団地、応募要件等)は、福島県復興公営住宅入居支援センターへお問い合わせください。また、7月下旬から入居支援センターのホームページ等でも詳細をお知らせいたします。

問 福島県復興公営住宅入居支援センター ☎024-522-3320 復興公営住宅 入居 検索

ふくしま Voice

帰還した人、起業した人、移住してきた人の声を紹介します。

Vol.8 小林友子さん (南相馬市在住)



南相馬市小高区にある双葉屋旅館で女将を務めています。震災時には津波による床上浸水を経験。その片付けも済まないうちに原発事故で避難することになりました。

避難時は長男が働く名古屋市で1年間暮らした後、南相馬市原町区の仮設住宅に移動。その後、宿泊もできる住居が必要だと考えて旅館を改修することに。平成28年の避難指示解除に合わせ、営業を再開することができました。

現在の宿泊客は被災地に向かう学生やボランティア、一時帰宅の方などが多くいます。外国からの訪問も増えました。客数には期待していませんでしたが、予想以上となっています。最近は商店の数も増えてきたので、提供できる料理も増えてきました。お客様から「美味しい」「ありがとう」「また来ます」といったお言葉をいただけるとうれいだし、それがやり甲斐にもつながっています。

旅館のほかに、地元産品を扱う店舗や花の植栽活動にも取り組んできました。人口が少ないので、地域に必要なものは自分たちで用意します。まちづくりというより、私にとっては自分を再生するための活動なのかもしれませんね。

宿泊客をお迎える女将の小林さん



改修工事を終えて再開した双葉屋旅館



読者の声

vol.73 アンケートの回答

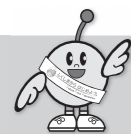
福島の夏で楽しみなことは?

- 福島は、47都道府県の中でも特に大きな県。旅行をすると海から山まで楽しむことができる。(群馬県 男性)
- モモが食べられる事!くだもの王国ふくしまを毎年味わっている。(県内 女性)

記事の感想、取り上げてほしい情報

- 久しぶりに実家の飯館村の様子が分かってうれしかった。(神奈川県 男性)
- ふくしまVoiceの福島県でがんばっている方の記事が励みになる。農家レストランに行ってみたい。(岩手県 女性)
- 飯館村、富岡町、広野町の情報を興味深く読んだ。今後も復興に関する記事を載せてほしい。(県内 女性)

ご意見・ご感想、お待ちしております!



バックナンバーを見れば…ふくしまがもっと分かる! 福島 今が分かる新聞

検索

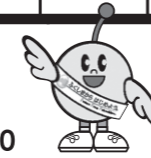


故郷とあなたをつなぐ情報紙

ふくしまの

が分かる

発行：福島県庁
避難者支援課
☎024-523-4250



新聞

 vol.74

令和元年7月18日(木) 発行

「ふくしまの今が分かる新聞」では、県内外に避難されている皆さまや被災者・避難者支援に携わる多くの方々へ、避難者支援の取り組みや福島の復興に向けた動きなど「ふくしまの今」が分かる情報をお届けします。



伊佐須美神社の御田植祭(会津美里町)

会津美里町の伊佐須美神社では、毎年7月11～13日に伝統の御田植祭が開催されています。これは伊勢神宮の朝田植や熱田神宮の夕田植と並んで「伊佐須美神社の昼田植」と称され、日本三大「御田植祭」に数えられる祭事。平成31年3月には国の重要無形民俗文化財に指定されました。中でも華やかなのは2日目に披露される早乙女踊。今年も同町佐布川地区の長男たちが、豊作を祈る舞を繰り広げました。

目次

特集 安心した暮らしに向けた相談支援について

- 正規雇用を目指す実習生を募集
- 避難されている方々への支援事業のお知らせ
- 復興公営住宅入居者募集

特集 安心した暮らしに向けた相談支援について

事業の相談支援 被災した事業者や農業者の自立に向けた支援をしています

福島相双復興官民合同チーム 事業者支援グループ長を務めている、須藤修平さんにお話をお伺いしました。



福島相双復興官民合同チーム
事業者支援グループ長
須藤 修平さん

Q1 どのような支援を行っていますか？

A 当チームは、2015年8月の発足以降、震災時に原子力被災12市町村で経営されていた商工事業者を個別訪問(約5,300者)し、経営に関する専門家による相談支援や、国・県の補助金の案内・申請支援などにより、事業再開や自立を支援してきました。2017年4月からは、農業者への個別訪問(約1,600者)も実施してきました。

Q2 支援内容が新しく強化された点はあるのでしょうか？

A 引き続き、被災された事業者の方々への積極的支援を行っていくとともに、今年4月から、原子力被災12市町村で震災後に創業・進出されている、もしくは新たに創業・進出される商工事業者の方々への支援も行うことになりました。事業拡大や創業を考えている事業者の方々への支援を通じて、12市町村の復興に貢献していきたいと思っています。

Q3 事業者の方々へのメッセージをお願いします。

A 当チームでは、事業者様それぞれのご意向に寄り添った、きめ細かな支援を行っています。少しでも気がかりなことがありましたら、お気軽にご相談いただければと思います。

支援例

売上・利益の拡大に向けた事業計画策定や業務改善、国や県等の補助金などの案内や申請支援、人材確保支援、商品企画や販売促進支援、事業立ち上げに関する経営相談 など

お問い合わせ・支援お申し込みは、下記番号までお電話いただくか、当チームのホームページからお申し込みください。

問 (公社)福島相双復興推進機構(福島相双復興官民合同チーム) ☎024-502-1117 相双 官民合同チーム 検索



正規雇用を目指す実習生を募集しています

福島県では、避難等により長期間非就労の状態にあった方の安定的な雇用を目指し、企業における実習事業(ふくしま人材確保支援事業)を行っています。

実習の対象者

次の両方を満たす方が対象です。
①東日本大震災発生当時、福島県内に居住または勤務されていた方
②直近の1年間、仕事に就いていなかった方

実習の内容

雇用開始日から令和2年3月31日までの間、6カ月間を目安に、就労に必要な基礎研修及び受入企業での職場実習を行いながら、資格取得等就労に必要な知識・技能を習得することができます。

問 受託事業者(株)ワールドインテック福島 ☎0120-03-0652
(事業担当課:福島県雇用労政課 ☎024-521-7290)

ふくしま人材確保支援事業 検索

事前の研修と
職場実習で能力アップ!
実習生の9割が正規雇用へと
結びついています。



福島県相双地域等(浜通り)で、介護職員として働くことを希望する方へ
～就職準備金等の奨学金貸付制度のご案内～

- 対象者 福島県外に居住している方または福島県内に居住している避難指示区域から避難している方
- 就職準備金 30万円または50万円 ※世帯赴任加算等が対象になる場合もあります。
- 研修受講料 15万円以内 介護職員初任者研修等を受講する場合に借りることができます。
- 返還免除 一定の業務従事期間(1年または2年)を満たした場合は返還免除となります。

問 福島県社会福祉協議会人材研修課 ☎024-526-0045



福島県 原子力損害賠償に関する 個別相談のご案内

福島県では、東京電力への原子力損害賠償の請求手続きについて、福島県弁護士会及び福島県不動産鑑定士協会と連携し、弁護士及び不動産鑑定士による個別相談を実施しています。お申し込みは、下記の窓口までご連絡ください。相談は無料ですので、お気軽にご相談ください。

弁護士による法律相談

相談できる内容

原子力損害賠償請求手続きに関する
不明な点やお困りの点 等

相談時間

30分
(午後1時30分～午後3時45分の間に実施)

実施日

希望日(土日祝日を除く)を伺い、調整した上で実施します。
※日程の調整には、おおむね1カ月程度時間を頂きます。

実施会場

原則として次の中からお選びください。
福島市・郡山市・会津若松市・白河市・南会津町・南相馬市・いわき市

弁護士による電話法律相談

毎週水曜日(祝日を除く)の午後1時～午後5時に実施しています。
電話による法律相談をご希望される方は、下記の窓口までご連絡ください。

不動産鑑定士による相談

相談できる内容

宅地、建物の賠償額の見方や算定の方法、
「現地評価」を選択するか迷っている 等
※不動産鑑定士が、評価額を算定したり、
賠償額を示したりするものではありません。

対象となる方

東京電力から「宅地・建物・借地権賠償金
ご請求書②」が届いている方

相談時間

30分(午後1時～午後4時30分の間に実施)

実施日

希望日(土日祝日を除く)を伺い、調整した上で実施します。
※日程の調整には、おおむね2週間程度時間を頂きます。

実施会場

原則として次の中からお選びください。
福島市・郡山市・会津若松市・南相馬市・いわき市

持参書類

必須 東京電力から送付される
「賠償金ご請求書②」一式
できるだけ家屋の写真、建築図面、
工事請負書等もお持ちください。

不明な点などは
お気軽に
ご相談ください。



問 原子力損害の賠償等に関する問い合わせ窓口 ☎024-521-8216(平日 午前8時30分～午後5時15分)
※対面による相談日時は、ご希望に沿えない場合もございます。ご了承ください。

[担当課 福島県原子力損害対策課]



放射線不安相談窓口のご案内

福島県では、避難地域内の廃棄物の処分方法など
についての相談窓口を設置しています。

相談内容に応じて現地で線量測定も行います。

問 帰還に向けた放射線不安相談窓口(浪江町役場本庁舎1階)
受付時間:月～金曜日(祝日を除く) 午前8時30分～午後5時15分
☎080-2845-3905 ✉ info2@fukushima-sanpai.jp



相談例

屋外の農機具や店舗内にある備品等の
処分先の案内と放射線量測定をお願いし
たい。

[担当課 福島県産業廃棄物課]



令和元年度 避難されている方々への支援事業をお知らせします

住まい、仕事、暮らし、健康、子育てなど福島県の支援事業の一覧を県ホームページに掲載しております。ぜひ
ご利用ください。

問 福島県避難者支援課 ☎024-523-4250 福島県 避難者支援事業一覧 検索

ふくしまの今を動画でも知ることができます

ふくしまの今を知る動画スペシャルサイト「FUKUSHIMA NOW」
では、「復興のあゆみ」や「ふくしまをつくる人々」などのふくしまの今を
伝える動画を見ることができます。

問 福島県広報課 ☎024-521-7015 ふくしまナウ 検索



<最新動画> 新生ふくしま 復興・創生への挑戦2019